

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府や日本銀行の景気刺激策等の効果により、個人消費拡大や企業収益が改善するなど、緩やかな景気回復の兆しが見られました。

このような環境の下、当社グループの事業概況といたしましては、以下のとおりとなりました。

「航空関連事業」・「メディア・ライフサービス事業」において、航空機部品や空港特殊車両の販売が好調に推移したことなどにより、売上高は前年実績を上回りました。一方、営業利益面では、前期に取扱った乗員訓練用機材や前期第2四半期における海外連結子会社のたな卸資産の販売の反動、介護関連施設（高齢者向け賃貸事業）の運営費用増加などにより前年実績を下回る結果となりました。

「リテール事業」・「フーズ・ビバレッジ事業」においては、空港店舗販売ならびに免税店舗販売が国内外の旅客数増加に伴い共に好調に推移するとともに、水産物やワインの販売増加、連結子会社が改善傾向にあるなどにより売上高および営業利益面共に前年実績を上回る結果となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は75,091百万円（対前年同期比114.0%）となりました。損益面では、営業利益1,324百万円（対前年同期比113.4%）、経常利益1,370百万円（対前年同期比120.4%）、四半期純利益810百万円（対前年同期比121.4%）となりました。

連結業績 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成24年4～12月)	当第3四半期 (平成25年4～12月)	前期比 (%)	前期差
売上高	65,887	75,091	114.0	9,204
営業利益	1,168	1,324	113.4	156
経常利益	1,138	1,370	120.4	231
四半期純利益	667	810	121.4	142

## [セグメントの概況]

セグメント別の概況につきましては以下のとおりです。なお、各業績数値は、グループ内セグメント間売上高及び振替高、配賦不能営業費用（管理部門の費用など）調整前の金額です。

## ① 航空関連事業

航空関連では、航空機部品の販売が好調に推移しました。機材・調達関連では、機内用品などの調達受託業務の契約終了により取扱が減少しましたが、空港特殊車両の販売が増加し堅調に推移しました。一方、前期に取扱った乗員訓練用機材や前期第2四半期における海外連結子会社（JALUX AMERICAS, Inc.）のたな卸資産である施設・設備の販売の反動などにより利益が減少しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高18,496百万円、営業利益392百万円と、それぞれ増収・減益となりました。

航空関連事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成24年4～12月)	当第3四半期 (平成25年4～12月)	前期比 (%)	前期差
売上高	13,360	18,496	138.4	5,135
営業利益	739	392	53.1	△346

## ② メディア・ライフサービス事業

保険関連では、\*保険代理店BPO業務ならびに法人需要が拡大したことなどにより堅調に推移しました。メディア関連では、用紙販売やプロモーション業務が拡大しましたが、印刷物販売の不振などにより低調に推移しました。また不動産関連では、前期に取扱った事業用不動産販売の反動および施設管理業務の減少、介護関連施設（高齢者向け賃貸事業）の運営費用増加などにより低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高8,508百万円、営業利益603百万円と、それぞれ増収・減益となりました。

\*保険代理店BPO (Business Process Outsourcing) 業務：個人向け保険業務の一環である顧客サービス業務（契約手続きやコールセンター業務など）の一部を受託する事業

メディア・ ライフサービス事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成24年4～12月)	当第3四半期 (平成25年4～12月)	前期比 (%)	前期差
売上高	8,138	8,508	104.5	369
営業利益	823	603	73.3	△219

## ③ リテール事業

空港店舗関連では、国内外の旅客数増加により店舗販売が引き続き好調に推移しました。ブランド・免税関連では、免税店向け卸売が仕入において為替の影響を受けましたが、訪日外国人数の増加や高額品の販売増加などにより免税店舗販売が好調に推移しました。また通信販売関連では、第2四半期における連結子会社の株式譲渡により売上高に影響がありましたが、季節商品の販売増加やダイレクトメールの発行部数・時期の見直しなどにより利益は増加しました。贈答用食品関連では、コンビニエンスストア向けの販売見直しなどにより利益は改善しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高35,459百万円、営業利益1,654百万円と、それぞれ増収・増益となりました。

リテール事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成24年4～12月)	当第3四半期 (平成25年4～12月)	前期比 (%)	前期差
売上高	34,458	35,459	102.9	1,001
営業利益	1,014	1,654	163.0	639

## ④ フーズ・ビバレッジ事業

水産関連では、サバやサーモン加工品を中心とする水産物販売が好調に推移しました。農産関連では、主力であるパブリカの販売を中心に売上高は増加しましたが、原料高や為替の影響、新たな農産関連連結子会社の運営費用増加などにより利益は減少しました。ワイン関連では、ブランド力のある高額ワインの販売増加により順調に推移しました。また、連結子会社である日本エアポートデリカ株式会社は、販売力強化や運営費用の見直しなどにより改善傾向となりました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高13,361百万円、営業利益137百万円と、それぞれ増収・増益となりました。

フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成24年4～12月)	当第3四半期 (平成25年4～12月)	前期比 (%)	前期差
売上高	10,468	13,361	127.6	2,893
営業利益	50	137	272.4	87

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

年末商戦需要による百貨店向け歳暮用食品や航空機部品の卸売により、売上債権が増加しました。また、水産加工品の仕入れにより、たな卸資産が増加しました。賃貸用不動産の所有目的を変更し、固定資産からたな卸資産へ振り替えました。

その結果、総資産は前連結会計年度末と比較して4,473百万円増加し、35,715百万円になりました。

## (負債)

年末商戦需要による売上債権に対応して、仕入債務が増加しました。

その結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して3,658百万円増加し、20,077百万円になりました。

## (純資産)

剰余金の配当を行った一方で、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しました。また、為替の変動により為替換算調整勘定が増加しました。

その結果、純資産は前連結会計年度末と比較して815百万円増加し、15,638百万円になりました。また、自己資本比率は3.0ポイント減少し、41.4%になりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において通期の業績予想の変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、Taniyama Siam Co., Ltd.の株式を取得し、新たに子会社となったため、連結の範囲に含めています。また、株式会社主婦の友ダイレクトは、当社が保有する同社株式を売却したため、連結の範囲から除外しています。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,219,694	5,188,326
受取手形及び売掛金	8,034,413	10,886,841
たな卸資産	5,502,201	7,629,946
その他	2,731,623	3,574,498
貸倒引当金	△76,035	△47,400
流動資産合計	21,411,898	27,232,213
固定資産		
有形固定資産	5,334,815	4,177,061
無形固定資産	407,506	508,017
投資その他の資産	4,022,380	3,745,274
固定資産合計	9,764,702	8,430,353
繰延資産	64,991	52,829
資産合計	31,241,592	35,715,396
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,790,479	10,701,617
短期借入金	2,045,181	1,872,105
未払法人税等	396,301	384,486
未払費用	2,164,214	2,109,471
その他	2,359,857	2,557,713
流動負債合計	13,756,034	17,625,393
固定負債		
長期借入金	1,463,875	1,318,070
退職給付引当金	529,783	457,989
その他	669,154	675,755
固定負債合計	2,662,813	2,451,815
負債合計	16,418,848	20,077,209
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,558,550	2,558,550
資本剰余金	711,250	711,250
利益剰余金	11,400,172	12,019,518
自己株式	△147,089	△143,726
株主資本合計	14,522,883	15,145,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,870	2,012
繰延ヘッジ損益	53,458	83,607
為替換算調整勘定	△716,881	△433,018
その他の包括利益累計額合計	△665,293	△347,399
新株予約権	9,882	7,724
少数株主持分	955,271	832,269
純資産合計	14,822,743	15,638,186
負債純資産合計	31,241,592	35,715,396

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	65,887,727	75,091,732
売上原価	51,381,514	60,299,781
売上総利益	14,506,212	14,791,950
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,070,240	944,571
給料及び手当	4,458,883	4,560,596
退職給付費用	340,275	208,610
減価償却費	322,816	311,538
賃借料	2,589,857	2,929,746
その他	4,555,780	4,512,025
販売費及び一般管理費合計	13,337,853	13,467,089
営業利益	1,168,359	1,324,861
営業外収益		
受取利息	7,927	7,329
受取配当金	20,687	24,752
持分法による投資利益	89,626	32,722
為替差益	—	22,441
その他	42,593	43,811
営業外収益合計	160,833	131,057
営業外費用		
支払利息	35,814	32,781
為替差損	100,073	—
支払手数料	39,132	34,727
その他	15,242	17,610
営業外費用合計	190,263	85,119
経常利益	1,138,929	1,370,798
特別利益		
固定資産売却益	1,608	5,187
子会社株式売却益	—	54,215
特別利益合計	1,608	59,402
特別損失		
固定資産処分損	31,273	8,829
投資有価証券売却損	481	—
その他	3,756	—
特別損失合計	35,511	8,829
税金等調整前四半期純利益	1,105,025	1,421,372
法人税等	660,924	597,103
少数株主損益調整前四半期純利益	444,101	824,269
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△223,167	14,042
四半期純利益	667,269	810,227

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	444,101	824,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,467	6,288
繰延ヘッジ損益	14,466	30,149
為替換算調整勘定	8,130	270,566
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,357	16,429
その他の包括利益合計	22,707	323,432
四半期包括利益	466,809	1,147,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	688,454	1,128,121
少数株主に係る四半期包括利益	△221,644	19,580

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空関連事業	メディア・ラ イフサービス 事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,259,767	8,023,766	34,446,158	10,158,033	65,887,727	—	65,887,727
セグメント間の内部売上高 又は振替高	101,161	114,918	12,387	310,057	538,525	△538,525	—
計	13,360,929	8,138,685	34,458,546	10,468,091	66,426,252	△538,525	65,887,727
セグメント利益	739,108	823,386	1,014,714	50,568	2,627,779	△1,459,420	1,168,359

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,459,420千円には、セグメント間取引消去1,730千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,461,150千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空関連事業	メディア・ラ イフサービス 事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,368,332	8,416,946	35,437,611	12,868,841	75,091,732	—	75,091,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高	128,527	91,390	22,141	492,562	734,621	△734,621	—
計	18,496,859	8,508,337	35,459,752	13,361,404	75,826,354	△734,621	75,091,732
セグメント利益	392,682	603,826	1,654,046	137,765	2,788,321	△1,463,460	1,324,861

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,463,460千円には、セグメント間取引消去4,656千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,468,116千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「フーズ・ビバレッジ事業」セグメントにおいて、平成25年7月1日付で株式会社アグリ・サンの事業を譲り受け、また同社のグループ海外子会社2社の全株式を取得しました。なお、当該事象によるのれんの発生額は、当第3四半期連結累計期間においては240,378千円です。